

【①分析：地域社会のニーズを分析】

1-1 地域にはどんな人がいますか？	出会いを求めているがきっかけが無い男女
1-2 地域にはどんな問題がありますか？	長年続いている少子化問題
1-3 誰が最も問題に直面していますか？	人口減少、少子高齢化による影響により社会的負担の大きくなる若者
1-4 その問題の真の原因は何ですか？	婚姻数の低下

【②立案：持続可能な解決策の開発】 ※『原因』を取り除くには

2-1 誰がどう変わればよいですか？	未婚者に対し、結婚を意識した出会いの前段階として、まず異性と気軽に交流する機会を持たせ、交際する経験を積んでいただく必要がある。
2-2 どんな条件が必要ですか？	時間的、距離的問題を解決し、安全且つ気軽に異性と交流可能な機会を作り上げる
2-3 誰が利益を得ますか？	結婚のきっかけを求めている人たち 人口減少の緩和につながるので将来的に多くの方々の利益になる

【課題となるテーマは？Next5は】

①と②を元にあなたのグループのテーマは？	県外の女性をターゲットに デジタル空間やSNSを使って 宮崎の男性のブランディングを行い 結婚に導くことで 地域課題の解決に繋がる
めざすNext5に当てはまる内容は？	地域の魅力の発掘と発信 イノベーションの促進 ビジネスマッチング

中間報告会	<b>発表は5分0秒でした</b> 発表者 浦部 大中 鶴田 八田
遠山	素敵なプレゼン。なんでメタバース？
浦部	未婚の方々のアンケート。目立った意見、「おっくう、こんかつが苦手」そのような意見を踏まえメタバース
浦部	マッチングアプリという言葉を使わなかったのは、がつつさせたくない
遠山	メタバースは出会いが無ければ衰退していく
野村	他のメンバーは理解していますか？一人が突っ走るのN Gだがメンバーが共有しているのは素晴らしい
10月までには細分化してメンバーを巻き込んでやってほしい	
植松	出会いの場に県外女性とJC男性を選んだ理由
浦部	一度成功体験としてスモール化させた。
宮崎 J C は人格者。女性を県外に絞った理由。県外から募ることによって、人口問題の+α移住問題を解決	
看護師も宮崎県外から引っ張る事で医療業界も潤う	
川越	何故宮崎なのか。他県でも同じ課題。何故宮崎？の必然性があればいい
募る候補者等はキーワードがぶれたほうがおもしろい。自走するには色んな人に参加してもらった方がよい	
大中	宮崎のメンバーは、先にブランディングするために使う。 実際に実施するのであれば、青年会議所メンバーよりも、青年実業家がよい。

事業計画

実施に至る背景 ※根拠をしっかりと記載する。	長年出生数とともに有配偶率が大きく減少している一方、有配偶率出生率の水準は維持している。(2020年国勢調査)つまり有配偶率の低下(婚姻数の低下)が少子化の大きな要因の一つとなっている。 その為、合計特殊出生率の改善に向けて、婚姻数を増やす対策が肝要と考えられる。 そこで、今年度当青年会議所でもセミナーが実施されたメタバース空間を利用し、気軽に交流を促すような支援ができないか計画を進めてみた。他にも、 ・男性は青年会議所から有志で募り、ブランディングする→女性の理想に合う可能性が高くなる ・女性は県外からSNS広告を利用して募る→宮崎への移住件数も増やせる ・募集をかける女性は看護師等再就職し易い業種に絞る→逼迫している業界の雇用率の上昇といった副次的な効果も期待できる
目的	青年会議所だからこそのできる出会いの場の提供を行い、婚姻件数&移住件数の増加→出生数&雇用件数の上昇→人口減少問題の解決&宮崎の活性化を目指す。
誰と一緒にできるか	メタバース空間に関する業者や団体 将来的には継続化させて行政、様々な企業団体などと提携していきたい。
実施できる時期	6月以降
どんなスケジュール間で準備が必要か	2月～3月末：役割の振り分け、協力団体との打ち合わせ 4月：仮想空間ツールの決定、JC男性の選出 5月：SNS広告展開 6月：事業実施 7月：次年度への継承のための記録作成
実施できる会場は	cluster等の仮想空間
事業計画内容 目的を達成させるための手法 ※出来るだけ詳細を記載する	県外に在住している女性をターゲットに デジタル空間やSNSを使って 宮崎の男性のブランディングを行い結婚に導くことで 地域課題の解決に繋げていくのが主な事業内容。  ①まず県外に在住している女性をターゲットについてだが、県外の結婚願望はあるが出会いが無かったり、今暮らしている場所から離れたいと考えている人が宮崎に移住するためのきっかけになりたいと考えている。その為、募集する女性のターゲット層を比較的気軽に移住できる職種、業種の女性に絞って募集を行う。(尚格次第で再就職の目的が立ちやすい看護師、教師など)  ②次にデジタル空間やSNSを使うことについて、今年度宮崎青年会議所ではメタバース空間を取り扱っていたが、そのノウハウを生かしてメタバース空間内にコミュニケーションを取ることのできるエリアを作ってイベントを開催し、気軽に異性と関わる空間を作りたい。 インスタグラムやTikTokの広告を使用して事業の認知を広め、県外の女性が気軽に参加できるような環境を作る。  ③宮崎の男性のブランディングについては、宮崎青年会議所所属のメンバーを募って協力をお願いする予定。そのスベックを存分に生かしたブランディングを行う。女性に合わせる程度の人となりを理解してもらう。  ④地域課題の解決 人口減少の問題だけではなく、例えば看護師にターゲット層を絞って募集をかけて成功した際には宮崎の医療従事者の人手不足問題にも効果がある。 雇用問題に対して大きな成果が出すことができれば次年度以降の協力団体の確保、協賛金の確保にもつながる。  【当事業の将来性】 事業実施後にアンケートを行い、改善点を修正し次年度以降も継続して、スクールも徐々に大きくしていくことを目標とする。 行政の移住を支援する部署と連携を取り、最終的には県全体を巻き込んだ事業に発展していけば宮崎の人口問題、雇用問題、デジタル空間の浸透に対してとても効果のあるプロジェクトになると考えている。

NEXT5	誰も取り残されない地域の実現	労働生産性を向上させる地域の実現	持続可能で安全な地域の実現
	社会	経済	環境
地域	地産地消の推奨	付加価値創造の推進	再生エネルギーの利用促進
	相対的貧困の改善	地域の魅力の発掘と発信	資源のサステナブルな生産と消費
	多様性を尊重した教育の推進	イノベーションの促進	エコツーリズムの推進
	伝統の継承(宮崎の文化)	D Xの推進	国土強靱化計画の推進
人財	健康意識の向上	ビジネスマッチング	持続可能な消費行動の啓発
	ニューノーマルへの適応	I T人財の育成	環境教育による環境保全促進
組織	ジェンダー平等の実現	会議の効率化	防災ネットワークの強化
	J Cブランドの確立と認知度向上	企業・学校・団体との連携	環境経営の確立